



4月の声を聞くと何となく気持ちが高ぶります。「さあ、いよいよ忙しくなるぞ」。夏野菜のための準備です。5月上旬には夏野菜の多くが苗の植え付けの時期を迎えます。それまでに土づくりを終えておきましょう。有機石灰で酸度調整、それから腐葉土・元肥の投入となります。栽培計画案を立てる時、連作障害も忘れずに。



JVEC プロジェクトの動き

1. 運営会議開催

3月17日(土)午後3時～5時半で運営会議を開催しました。出席者は7名でした。

前半は、上半期の報告と下半期に向けての話し合いをしました。会議の後はお茶とお菓子で自由な懇談を持ちました。えごまを使ったクッキーとアンパンもいただきました。

(阿部)

2. JVEC 式屋上菜園野菜栽培研修会 (第1回目)

3月15日(金)に屋上菜園野菜栽培研修会を開催しました。今回のテーマは「屋上菜園の世界と特徴」ということで、屋上菜園の大きな特徴と人間的、社会的意味について説明がありました。参加者は6名でした。

次回2回目は、「市民による市民のための有機農業」というテーマに基づき実際の作業方法についてお話があります。

(阿部・庭野)

3. サン・ジョルディの日

4月23日は「サン・ジョルディの日」。皆さん何の日かご存知でしょうか？スペインのカタルーニャ地方の記念日ですが、スペインではこの日に男性は女性に花を贈り、女性は男性に本を贈る習慣があるそうです。日本でも書籍と花木の業界がこの運動を続けていますが、まだまだ知る人は少ないようです。とても素敵な習慣ですね。

JVECには花木に関係している会員がいます。今後この活動についてレポートしていきたいと思っています。

(伊藤)



4月の予定

□北千住ルミネ屋上作業 毎水曜日
4月4日・11日・18日・25日作業 午前10時～12時

□遊心「親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」
土曜日開催
〈5回目〉4月7日・〈6回目〉4月21日
午前10時～12時
場所/神田ハゴロモビル(千代田区内神田1-10-8)
屋上および5F会議室

□三井住友海上火災 屋上菜園作業開始
4月下旬
場所/三井住友海上火災ビル屋上(千代田区神田駿河台3-9)

□島根県川本町・太田市出張(阿部・伊藤)
4月13日(金)～16日(月)

□屋上菜園野菜栽培研修会
金曜日開催
〈2回目〉4月20日 午後3時～5時
市民による市民のための有機農業
場所/神田ハゴロモビル(千代田区内神田1-10-8)
5F会議室

4. 三井住友海上火災様での土壌改善作業

4月から三井住友海上火災様の屋上菜園で土壌改善作業が始まります。4月は2回耕耘作業をします。スコップを使って行います。

- ◇1回目 5人で4時間作業
- ◇2回目 5人で2時間作業
- ◎時給/1500円 ※交通費別途支給

詳細は日時が決まり次第お知らせいたします。作業に関われそうな方はぜひご連絡お待ちしております。

(阿部・庭野)

3月の活動報告

◇遊心「屋上菜園で子育て支援」部会◇

「屋上菜園で親子一緒に野菜づくり＆自然ふれあい教室」。これは遊心さんとJVECコラボの子育て支援活動の正式名称です。

3月3日の3回目。ひな祭りですね。まだ朝晩は冷え込みますが、日差しはもう春。今回のテーマは、「お野菜の病気と害虫」。病気のほとんどはカビかウイルスによるもので、害虫は芋虫やアブラムシ等。どのように防ぐのでしょうか？JVECでは、化学的な薬は撒きません。そこで、お酢とお砂糖と焼酎で作った「ストチュウ」を使います。これならヒトが食べたり飲んだりできるものだから、植物に撒いても安心ですね。子供たちも「ストチュウ」作りをお手伝い。ほかにも竹炭を細かくして土の上に撒いたり、野菜に相性のいいコンパニオンプランツを植えたりして害虫を防ぎます。最後に畝を完成させて次回の準備は万端です。



パネルを使って、
病気や害虫の説明

3月24日の4回目は東京の桜の開花宣言が出た日、春の陽が差して屋上は暖かか。屋上菜園日和です。いよいよ屋上の畑に植え付け開始。家族ごとに畑のブロックを決めて、親子で植えていきます。じゃがいもは種イモ、ベビーリーフは苗、小松菜とルッコラは種。種のうえに土をかぶせてトントン。芽が出てくるのが楽しみです。

屋上の小さな畑ですが自然の醍醐味が！コガネムシの幼虫？が土の中で眠っていました。屋内では、親がこれから育てる野菜を決める打ち合わせ。家族ごとに3～6種類を選びました。スイカが人気。子供たちはいろいろな種を触って、それから紙粘土で野菜の形作り。丸いジャガイモ、長いキュウリ。みんな野菜が好きになってきたね。

(伊藤)



屋上で苗や種を植える子どもたち



親は、何を植えるか会議中

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇

ジャガイモの植え付けと竹炭散布

北千住ルミネ・屋上菜園ガーデンでは、3月14日(水)ジャガイモの植え付けを行いました。ジャガイモの植え付けではまず、穴と穴の間隔は30センチほどとし、今回は1区画2条にしました。穴の深さは6～7センチを目安に掘り、その穴の中に種芋を置いていきますが、このとき種芋の「地下茎が繋がっていた部分」が下になるように注意して種芋を置いていきます。最後に土を被せて完了です。全部で18個の種芋を植え付けました。また、ジャガイモについては、その直後の水やりはしません。水やりは雨水だけとなります。さらに今回は、竹炭を土壌改良剤として植え付け後の土の表面に撒きました。また竹炭はうどん粉病対策としても効果がありますので、小玉スイカの予定区画、トマトの予定区画、さらにブドウの木が植わっている区画にも散布しました。

(藤掛)



ジャガイモを土に置いた様子



使用したジャガイモは
人気の「キタアカリ」

◇三井住友海上火災(株)屋上菜園部会◇ 「メンテナンス契約」締結へ

4月12日(木)三井住友海上火災保険様と打ち合わせを持ち、2018年度の屋上菜園管理、栽培計画が固まります。栽培する作物は三井さんの希望で夏そばと秋そば、それに加え、えごま、モリンガなどのスーパーフードを計画しています。詳細な年間スケジュール表は4月末迄に完成予定です。(庭野、阿部)

☆「屋上菜園物語」も
アップされています。

JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→<https://www.jvec.jp/>